＜安全で安心できる地域づくり＞

重点事項：高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

主な目標

誰もが安全・快適に暮らせる生活環境づくりを進めるため、交通事故対策や公共空間、住宅・建築物におけるユニバーサルデザイン※1の導入などを行います。

※1　ユニバーサルデザイン：すべての人が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること。

目標達成のためのH18年度の具体的な施策の例

・より効果的･効率的に交通事故を削減するため、死傷事故率の高い地区・箇所等※2の交通事故対策を重点的に進めます。

※2 死傷事故率の高い地区・箇所等：「事故危険箇所」・「あんしん歩行エリア」及び「優先度明示方式」により抽出（重点対策区間内より抽出）された死傷事故率の高い箇所を指します。

（具体箇所例）

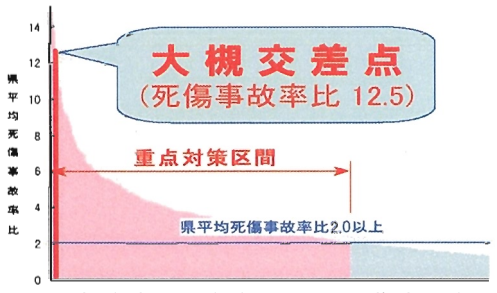
直轄：一般国道	4号	大槻（おおつき）交差点改良	（別冊P. 39）
	一般国道112号	南一番町歩道	（別冊P. 40）

●大槻交差点改良：優先度明示方式※3・「事故危険箇所」※4対策

大槻交差点は、死傷事故が岩手県平均の約12.5倍の確率で発生し、また「事故危険箇所」にも指定されています。

※3 優先度明示方式：死傷事故に遭う確率の県平均に対する倍率が高い順に並べて優先的に事故対策すべき区間を明示・抽出する方式です

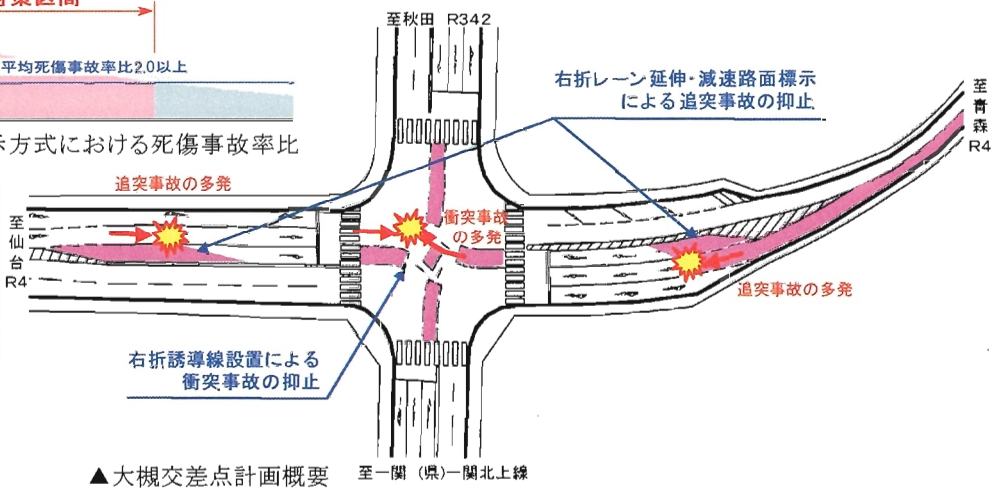
※4 事故危険箇所：死傷事故に遭う確率が全国の幹線道路平均の5倍以上の箇所等を選定。全国約4,000箇所、東北142箇所あります



▲優先度明示方式における死傷事故率比



▲大槻交差点付近での渋滞状況



▲大槻交差点計画概要

●南一番町歩道：「あんしん歩行エリア※5」における安全な歩行空間の確保

※5 あんしん歩行エリア：単位面積あたりの事故発生割合の高い地区を選定。全国で約1,000地区、東北では56地区あります。

【歩道バリアフリー化の整備イメージ】



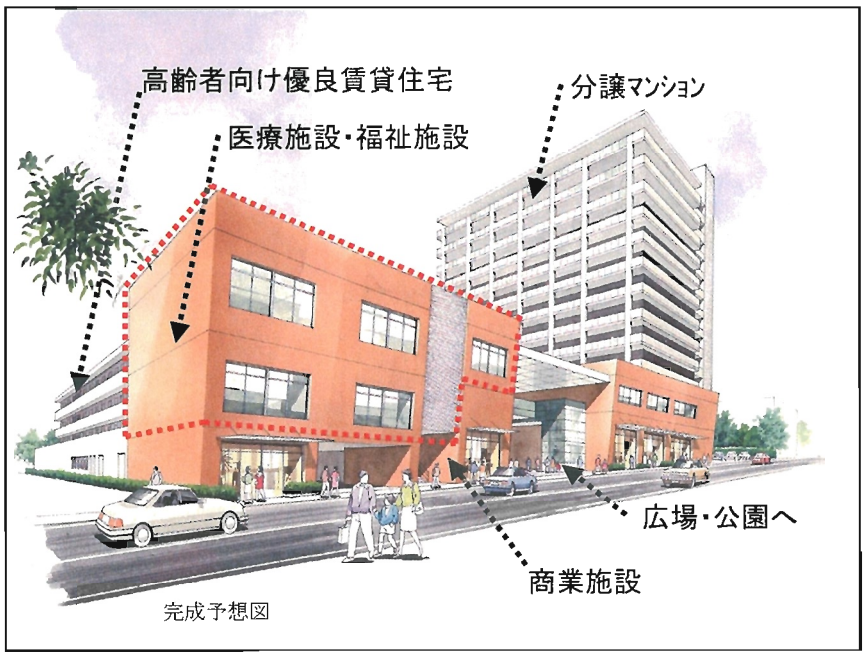
▲自転車や車いすがすれ違い可能な幅員の確保などのバリアフリー化により、安全な歩行空間の確保を図ります。

・高齢者が安心して快適な生活を過ごせるよう、福祉施設と連携した高齢者向け優良賃貸住宅の整備を進めます。

（具体箇所例）

補助：花城町（かじょうちょう）地区優良建築物等整備事業（岩手県花巻市）　（別冊P. 41）

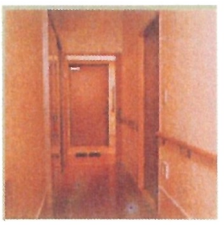
●高齢者向け優良賃貸住宅（花城町）



▲住宅、医療施設、高齢者福祉施設、商業施設の複合建築物のほか、交流スペースとして広場を設置し、周辺施設と一体となった交流空間を形成します



▲手すりの設置



▲広い廊下

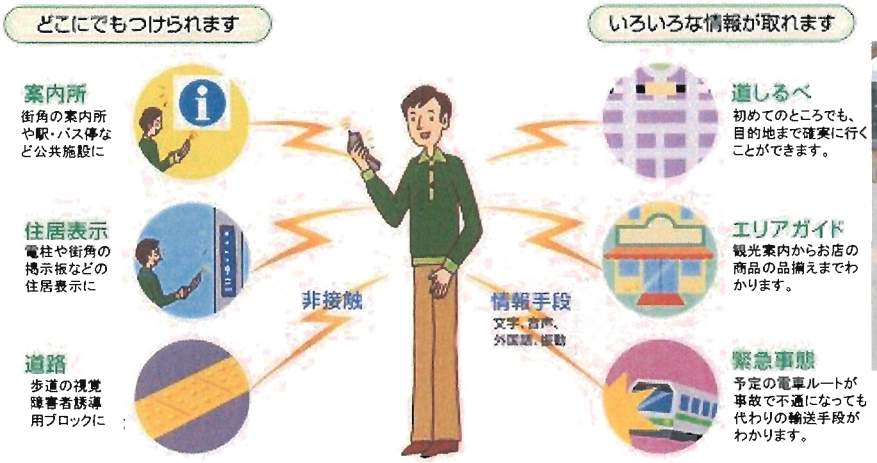


▲緊急時の対応サービス

・新しい情報通信技術を取り入れ、高齢者や障害者をはじめ、誰もが安心して移動できる快適な道路環境作りを目指します。

（具体箇所例）

●ゆきナビあおもりプロジェクト※（ユビキタス）



▲携帯情報端末機器（ユビキタス）から、道案内やバスの到着時間、さらに町の歴史や商店街の情報まで、音声と文字・写真で提供されます



▲ユビキタスを使用し、ICチップを埋込んだ点字ブロックを専用の白杖で触れると、位置情報や目的地までの経路を案内することが出来ます

※ゆきナビあおもりプロジェクト：豪雪地域である青森県では、冬期間でも高齢者や障害者が安心して移動でき、どこでも必要な情報を必要なときに入手できる「ユビキタスコンピューティング」の具現化に取り組んでいます。